

全国協議会 ニュース

2019年3月1日発行 第321号

発行所：特定非営利活動法人
全国骨髓バンク推進連絡協議会
〒101-0031 東京都千代田区東神田1-3-4KTビル3階
TEL：03-5823-6360 FAX：03-5823-6365
発行責任者：田中重勝 題字：仲田順和（会長）
http://www.marrows.or.jp E-Mail:office@marrows.or.jp

安倍総理、政府として 「骨髓バンクへの支援充実」を表明！

ドナー休暇制度導入の促進、若年層ドナー登録の推進

2月18日(月)衆議院予算委員会において玉木雄一郎議員からの質疑で、安倍晋三内閣総理大臣は「骨髓移植(バンク)は、ドナーによる骨髓提供があつてはじめて成り立つ仕組みであり、希望する方がドナーになり易いよう環境を整備することが重要。政府としてはこれまでも骨髓バンクやさい帯血バンクへの支援、医療機関の体制整備を行って来ているが、来年度からは、企業などにドナー休暇制度の導入を働きかける活動の支援をしていく。若年層ドナー登録者を増加させることが重要であり、若者が多く集まる地区の献血ルームに重点的に担当者を配置する対策を支援する。さらにSNSを用いた普及啓発などの対策を進めていく。」と答弁し、政府として骨髓バンクへの支援対策の充実を表明しました。今後の骨髓バンクへの対策が政府全体の取り組みとなって、大いに前進することが期待されます。

玉木議員の質問は、「水泳の池江選手が、白血病発症を発表されました。治療に専念され一日も早く元気な笑顔に戻ることを願っています。」という言葉から始まりました。

次いで、今、骨髓バンクへの注目が高まっているとして、骨髓バンクの充実については、国民民主党としての政策「日比プラン(故・日比健太郎名古屋市議会議員による骨髓ドナー登録推

進プラン)」を提言しました。

その要旨は、「骨髓バンクの充実では、ドナー登録推進に加え、移植率の向上が大切。移植希望患者さんは年間約3,000人にのぼるが、適合するドナー登録者が見つかっていても実際の移植に至る患者さんは58.3%に止まっている。その理由としては、ドナー登録者の辞退などである。

中止理由では、ドナーの健康問題で約4割と一番多いが、それ以外が6割ある。その内訳では43%が都合つかず、連絡つかずが31%という数字だ。

働いているドナー登録者の方々が提供し易い環境づくりとして、企業でのドナー休暇制度導入の働きかけ、地方自治体で導入が進んでいるドナー助成については国レベルでの制度化が必要である。

ドナー登録者との連絡方法は電話に加えてSNSの活用が必要だ。」との質問、提言でした。

骨髓・さい帯血バンク議員連盟総会を開催 全国協議会「ドナー登録推進、患者支援」4項目を提言

1月31日(木)骨髓・さい帯血バンク議員連盟(会長：野田聖子衆議院議員)が参議院議員会館において総会を開催しました。この総会には、関係機関として厚生労働省、日本骨髓バンク、日本赤十字社、日本造血細胞移植学会に加え、血液情報広場つばさ、さい帯血国際患者の会、全国協議会も参加しました。

総会では、「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律」(民間さい帯血バンクへの規制強化)の施行案について諮られた承されました。次いで、厚生労働省から国としての取り組み状況と来年度の新たな施策について報告さ

れ、事業機関の日本骨髓バンク、支援機関の日本赤十字社(臍帯血供給事業者)、学会からの現状と課題への取り組み状況が報告されました。その後、各ボランティア団体からの現状報告と要望が行われ、参加議員からの質疑がありました。

当全国協議会の田中重勝理事長は、「ドナー登録現場の課題解決に向けて」提言①ドナー登録に係る業務を日本赤十字社に一本化 提言②採血を伴わない登録方法の検討、また「患者さんのQOL向上を目指して」提言③行政におけるがん患者への妊孕性温存費用の助成制度拡充 提言④就学支援などの拡充の必要性について説明し、

要望を行いました。

今後、議員のみなさまのご理解とご協力を得て上記4項目の提言の実現に向けて、実現するよう努力してまいります。

骨髓バンクの最新情報をお知らせする

🔍 骨髓バンク NOW

(MONTHLY JMDP(2月15日発行)より抜粋)

■日本骨髓バンクの現状(2019年1月末現在)

	12月	1月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,853	2,888	494,084	761,361
患者登録者数	253	239	2,895	55,750
移植例数	78	86	—	22,790

■1月の区別ドナー登録者数

献血ルーム/802人、献血併行型集団登録会/2,040人、集団登録会/1人、その他/45人

■1月の年齢別ドナー登録者数(現在数)

10代 4,576人/20代 74,391人/30代 135,801人
40代 211,900人/50代 67,416人

■1月の20歳未満の登録者479人

■1月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数：644件

注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

全国各地で「ブロックセミナー」開催

東北 11月24日・25日



(左：小野利廣さん 右：大石邦子さん)

秋も深まった福島・新白河の地で2日間、泊りがけでの東北地区ブロックセミナーが行なわれました。主催者挨拶と参加した各地の団体紹介の後に、日本骨髄バンクから事業状況の説明、全国協議会から報告がありました。その後、福島県立医科大学小児腫瘍科教授・菊田敦先生による「造血幹細胞移植と晩期合併症-小児・AYA世代の長期フォローアップ体制整備」の医療講演が行われ、小児がんの抱える問題を詳しく講演いただき、とても勉強になりました。

移植経験者座談会では、福島の志賀としえさん他2人の方から、それぞれの経験者の抱える問題などを話していただき、様々な闘病体験を乗り越えてきた話に感銘を受けました。そうして懇親会では40人という大勢の参加者で、皆さんが手土産などを持ち寄り、本当に楽しい時間を過ごしました。

翌日の2日目は、エッセイスト大石邦子さん、福島の会副会長小野利廣さんの二人の日曜放談でした。小野さんが聞き手となり、大石さんの人生を

語っていただき、大石さんの話は、参加者の誰もが涙の連続でした。とにかく元気な大石さんにしばらくぶりに会え話しをした私は大感激でした。さすが、陽田さんを中心とする福島の会の仲間と思わせる、盛り沢山の濃い内容でした。ありがとうございました。

(石巻の会 小野喜代人)

九州 1月26日

福岡市で日本骨髄バンク(財団)説明員研修会後に、九州地区ブロックセミナーを沖縄、鹿児島、宮崎、熊本、佐賀、福岡から7団体・27人の参加者を得て開催しました。

今回は昨年立ち上がった「骨髄バンクくまもと」からも多数の方々に参加いただき、研修会で言い足りないことや、日頃のドナー登録推進活動などの情報交換をフリーディスカッション形式で行いました。また全国協議会・田中理事長からは全国協議会の現状を紹介いただきました。終了後は居酒屋にて引き続きの情報交換と親睦を大いに深めることができました。次回からは財団担当者の参加もお願いしたいと考えております。(担当理事・辻枝雄)

関東甲信越 2月2日

かながわ県民センターで神奈川の会が主管となり、関東・甲信越ブロックセミナーが開催されました。7団体の参加を得て、出席者は25名でした。

冒頭、神奈川県保健医療部がん・疾



病対策課の松本進主事から「神奈川県骨髄バンク推進対策の取り組みについて」の説明がありました。神奈川県では、「かながわボランティア・活動推進基金21」を活用し、ドナー登録推進・普及啓発事業を行なっていること。また献血併行登録会ではライオンズクラブが積極的に協力しているとのことでした。神奈川は官民・ボランティアが一体となった活動になっていて、大変素晴らしいと感じました。

次に田中理事長が「全国協議会の現状、重点活動」について説明しましたが、各地の皆さんに全国協議会を理解頂く上で大変良い機会となりました。

恒例の各地団体からの報告では、活発な意見交換の場になり、大変有意義でした。特に長野の会が、立ち上げから間もなく一人で頑張り活動されている点が印象に残り、今後各地の皆さんで支援していけたらと思いました。

懇親会は、円卓で美味しい中華料理を堪能し、お酒も入り、楽しい語らいのひと時となりました。

一連の準備下さった神奈川の会の皆様、ありがとうございました。

(担当理事 梅田正造)

ゴールドジムスクール 発表会で寄付金贈呈式

毎年開催されているチャリティーイベントに、寄付金贈呈先の団体としてご招待いただきました。

1月12日(土)高槻現代劇場(大阪府高槻市)において「ゴールドジム関西スクール発表会2019」が開催されました。今年で7回目となるイベントです。当協議会からは山村詔一郎理事が出席し、194,921円のご寄付をいただきました。

1月27日(日)なかのZERO(東

京都中野区)で開催された「ゴールドジムスクール発表会フィットネスフェスタ2019」は2005年度から始まり今年には過去最高の総出演者数730名、総来場者2,013名もの方が参加されたそうです。

当協議会の村上忠雄副理事長が出席し、662,330円を頂戴しました。年を追うごとに大きくなるイベントで、骨髄バンクを知ってもらえる機会とご支援をいただき感謝申し上げます。

日本がん・生殖医療学会

日本がん・生殖医療学会が2月9日

(土)・10日(日)に岐阜市「じゅうろくプラザ」で開催されました。学会長のご理解で啓発ブースをご提供いただき、全国協議会の患者支援についてご紹介しました。

妊孕性(生殖機能)温存に関する支援基金である、「このとりマリー基金」や「志村大輔基金」をご存じな方も多くいらっしゃり、後日、不妊治療クリニックの方から資料の請求もいただきました。必要な患者さんにこの制度が広がるように、また、この基金の存続のためにご支援をいただけるようお願いした2日間でした。

プルデンシャル生命保険会社、寄付金贈呈式開催

2月4日(月)プルデンシャル生命保険株式会社横浜支社にて、寄付金贈呈式が開催されました。今年の第95回箱根駅伝での街頭応援、骨髄バンクの普及啓発活動には全社で375名もの社員とご家族の方々がご参加され、佐藤きち子基金へ375万円のご寄付をいただきました。

贈呈式が行われた横浜支社では、東京・横浜エリアの社員とご家族、そしてお客様に声かけを行い、当日は69人の方が箱根駅伝の啓発活動に参加して下さったそうです。営業統括本部長補佐の伊東三六様のご挨拶では「社会貢献活動には様々な形がありますが、自宅で新年を祝う家族が多い中、寒空の下、凍える手でノボリを持って、病と闘う患者さんを励ますこの活動はボランティアの本来の形で素

晴らしいものです。」と語られました。

伊東様から当全国協議会・田中重勝理事長に寄付目録が贈呈されました。大谷貴子顧問は、「患者さんにエールを届けること。この活動の意味が、患者さんに確かに伝わっています」と御礼の言葉を伝え、この啓発活動の発起人である大橋一三さんからは、ドナーへの手術給付制度を作るために尽力されたプルデンシャル生命保険会社との絆のこと、そしてご本人の2度の骨髄提供の様子を伝えられました。その後、ドナー登録説明の



(写真左：田中理事長、右：伊藤三六様)

時間もいただき、近くの献血ルームの紹介までしていただきました。

毎年のご支援、温かい式典をいつもありがとうございます。

いのちの輝き展 5カ月のロングラン開催



千葉県内の8市町村10会場で「いのちの輝き展」を開催出来たのは、千葉骨髄バンク推進連絡会の熱心で真剣な先輩方の姿を見て勇気をもらったからです。私はこれまで、パネル展を見た事も展示会のお手伝いをした事ありませんでした。今回の開催までの3カ月で、全て一から教えてもらいました。

千葉県の市町村では、ドナー助成制度の導入に向け取り組んでいる所も多く「まず知ってもらう為にパネル展を開催しませんか？」と言いながら訪問して

行くうちに、私自身もパネル展の意義や重要性を知ることができました。

「いのちの輝き展」「わたしががんばったよ」の作品パネル、そして千葉の会の紹介パネルを展示し、マンガ「ドナーになるってどんなこと」「ぞうけつおかん」をPR配布、岐阜県骨髄献血希望者を募る会より寄贈されたパネル原作者の『あやちゃん、まもる君』

のプロフィールを展示・配付しました。感想ノートには26の方が記入して下さいました。

横芝光町健康づくりセンターでは、当初10月半ば頃の展示を予定していましたが、事前にパネルを見てもらいたいと持参したら「そのまま展示して欲しい」と急遽飾ることになりました。

茂原市立図書館の会場は駅ビル内にあり、多くの方に見て頂き館内に「白血病関連図書コーナー」を設け貸し出しもありました。山武市役所では、市の広報を見てわざわざ来てくれた方もおられました。陸沢町中央公民館では、パネルの傍に関連図書コーナーを設けて下さいました。白子町保健センターでの開催中には、検診の血压測定の間所をパネルの正面に移して下さい、来訪者の目に留まるように配慮して頂きました。多くの皆さまのご理解とご協力に対し、心から感謝申し上げます。

(千葉骨髄バンク推進連絡会 久永幸子)

8/2	九十九里町保健センター	10/3 ~ 10/17	東金市保健福祉センター
8/6 ~ 8/10	大網白里市役所ロビー	10/18 ~ 10/30	横芝光町健康づくりセンター
8/14 ~ 8/30	横芝光町健康づくりセンター	10/31 ~ 11/7	山武市役所ロビー
9/11 ~ 9/17	九十九里町中央公民館ロビー	11/8 ~ 11/18	陸沢町中央公民館ロビー
9/21 ~ 9/27	茂原市立図書館 入口通路	11/26 ~ 12/3	白子町保健センター

5月18日(土) 全国大会(山形開催)のご案内

前号(320号)では、パネルディスカッションについて紹介いたしましたが、今回はパネルディスカッション終了後に開催されますフォーラムについてご紹介させていただきます。

フォーラムは5月18日(土)の16時10分から1時間の予定で開催します。本来、この大会は骨髄バンクを支援するボランティア団体の集まりであり、骨髄バンクに関する事、血液疾患の医療に関する事が話し合われる場かも知れませんが、この度やまがたの会

で主管するに当り、この大会のテーマをやまがたの会の会員と話し合い、参加していただいた皆さんに何を持ち帰って貰うのかを考えました。

その結果、病気になった人、病気になったその後の人生を歩んでいる人だけでなく、この社会で暮らす人々一人ひとりがキラキラと輝いた人生を送ることのできる社会の実現をテーマに掲げ、健常者と障がい者、老若男女、誰もが挑戦し続けることのできる社会の実現、ユニバーサル社会の実現につい

て皆様とともに学びの時間を共有して参りたいと思ひ至りました。

当日はその最前線にてご活躍されている「空飛ぶ車いす社長」で有名な一般社団法人山形バリアフリー観光ツアーセンター代表理事の加藤健一氏をお迎えし、セミナーを開催致します。どうぞこちらの企画もご聴講下さいませ願ひ申し上げます。

骨髄バンクを支援するやまがたの会
運営委員 山科 慎治

東京新都心ライオンズクラブ 30周年記念チャーターナイト 開催



2月22日(金)東京新都心ライオンズクラブチャーターナイト30周年記念式典(クラブ会長廣川貞雄氏、大会委員長渋谷俊徳氏)が、320人もの参加者により盛大に開催されました。

当日は、小池百合子東京都知事、吉住健一新宿区長、大野元裕参議院議員、今井文彦地区ガバナーなどのご来賓、都内と関東近隣そして全国からライオンズクラブ会員が参加されました。

寄付先団体の一つとして全国協議会も招待され、心のこもったご寄付を賜りました。同クラブの骨髄バンクへの支援活動は、1995年から今日までの24年間の永きにわたり、毎年、継続して行っただけでいます。心から厚く感謝申し上げます。

東京では、1995年10月8日に都内全クラブが参加して、骨髄バンク支援として街頭普及啓発・募金活動を行なわれ、全国の先駆けとなりました。

カメラのご寄付
ありがとうございます

山村詔一郎様から一眼レフカメラのご寄付をいただきました。ありがとうございました。

基金給付を受けた方からのメッセージ

佐藤さち子記念 造血細胞移植患者支援基金

この度は、支援していただきありがとうございます。子どもの状況が悪く、遠く県外での治療を受けることしかできず、心配なことだらけでしたが、金銭面でのバックアップを受けることができ、不安な気持ちも軽減できたような気がします。本当に感謝しております。少しでも子どものそばにいらることができ治療に専念できました。今のところ経過も良く順調です！ありがとうございます。

(九州地方 患者のお母さん)

この度は助成していただきありがとうございました。私は家族が多いのと、私が働けなくなり、収入も減り入院費、通院費に悩んでいました。この度の移植も自宅のある●●県と病院のある○○県での二重生活になる為助かりました。借り入れていた入院費も今回助成いただいたお金で返金できました。(中国地方在住)

賛助会員の皆さま紹介(敬称略)

- 【一般賛助会員】
丹羽ガス株式会社、株式会社ボンフォーム=岐阜
- 【サポート会員】
能登昭二=石川▽若松司郎=岐阜

心からのご寄付に感謝申し上げます ●1月21日~2月20日(敬称略)

●一般	株式会社 THINK フィットネス 現金 662,330円	匿名 現金 5,000円	匿名 現金 30,000円	●このとりマリーン基金	東京港南マリーンロータリークラブ 現金 203,174円
株式会社 THINK フィットネス	現金 194,921円	匿名 はがき 41枚	匿名 現金 1,817円	品川明るい社会づくりの会	現金 50,000円
三報社印刷株式会社	現金 10,000円	●佐藤さち子患者支援基金	匿名 現金 10,000円	●白血病患者支援基金	西垣 エイ子 現金 3,000円
宮代町立百間中学校生徒会	現金 15,510円	ブルデンシャル生命保険株式会社	現金 3,750,000円	川岸 知之 現金 10,000円	
宮代町立百間中学校PTA	現金 20,000円	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構	現金 5,341円	●募金箱	東京ガスライフバル澤井株式会社 現金 3,639円
聖ヨゼフ学園中学・高等学校	現金 10,000円	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構	現金 5,010円	株式会社 マルト商事	現金 110,935円
校長 清水 勝幸	現金 10,000円	東京港南マリーンロータリークラブ	現金 100,000円	株式会社 マルト商事	現金 156,938円
飛田 行康	現金 10,000円	匿名 現金 3,000円	匿名 現金 10,000円	株式会社 クスリのアオキ	現金 380,029円
田中 重勝	現金 10,000円	匿名 現金 10,000円	●志村大輔基金	コスモ石油労働組合	現金 1,991円
鈴木 あや子	現金 30,000円	匿名 現金 250,000円	匿名 現金 5,000円	●つながる募金	現金 4,300円
山村 詔一郎	現金 2,840円				
三品 雅義	現金 20,000円				
塩谷 泰人	現金 2,000円				
匿名	現金 5,000円				
匿名	現金 5,000円				
匿名	現金 250,000円				

活動資金の支援をお願いします 銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655 郵便振替口座 00150-4-15754

口座名: 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会